

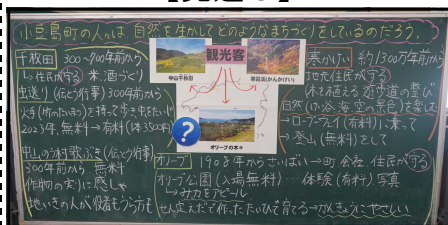
第4学年社会科「自然の魅力を生かし、持続可能な観光地を目指す小豆島町」

学習指導者 網野 未来

小豆島町のまちづくりについての小単元を組んだことで、オリーブ、寒霞溪、中山千枚田という小豆島町ならではの自然に気付けるようにしました。三つの特色についてさらに知りたいことが見付かり、もっと調べたいという気持ちが高まったため、リストにして蓄積することを指導しました。また、分かったことや驚いたことを基にさらに知りたいことを見付ける方法を身に付けさせました。

中山地区の人々は、なぜ虫送りの火手を有料にしたのだろう

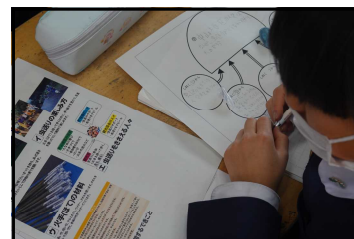
【見通し】



補助黒板などを使って、前時分かったことを振り返った後、「さらに知りたいことリスト」を基に、本時考えたいこととその理由を確認しました。中山地区の人々が虫送りの火手を有料にした理由について解決できたら、単元の学習問題の解決につながっていきそうなことを捉えていました。

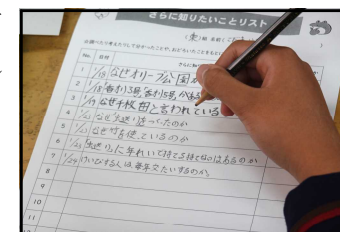
【行動】

既習の資料を参考にしながら、火手を有料にした理由をクラゲチャートに表していきました。その後の全体交流では、「有料になったら、観光客は虫送りに来なくなるのではないかと投げかけ、観光客も様々な意見をもっていることや、虫送りには無料の楽しみ方もあること、有料になっても火手を持ちたいと思っている人は来てくれる等、大切な行事を守りたい人たちがいることに気付けるようにしました。さらに、自治会長の方の話の資料を使って話し合ったことを検証した後、分かったことを振り返りカードに記述させました。子供たちは、「住民は集めたお金を材料費や燃料費に充てることで虫送りをこれからも続けていけるし、虫送りが続くと観光客もこれからも楽しめる」などと、分かったことをまとめることができました。



【振り返り】

本時できたこと（学び方）やもっと頑張りたいと思ったことを振り返りました。その後、リストに蓄積しているさらに知りたいことや、分かったことの記述と本時の資料を参考にし、さらに知りたいことを見付け、リストに書き加えました。子供たちはさらに知りたいことが見付かったことで、次時への意欲を高めました。



成果と課題

○様々な資料を基にしながら、虫送りの火手を有料にした理由について粘り強く考えることができた。また、本時の学びを基にさらに知りたいことを見付けることができ、次の学習への意欲を高めることができた。

▲前時に見付けた問題と単元の学習問題とのつながりを具体的に共通理解していくことで、本時の課題解決への意欲をさらに高めることができたのではないかと。見付けた多様な問題を解決できる単元構成になるように工夫していく必要がある。